

日本遺産満喫コース(フリーパス利用者向け 日帰り)				
時間	場所	概要	備考	画像
9:12	鏡子駅	JR総武本線鏡子駅下車。 駅の中には観光案内所があるため、 そちらで観光情報を入手するのがオススメ!	鏡子観光案内所 営業時間 8:45~17:15 問合せ 0479-22-1544	
9:25~9:40 鏡子駅 ⇒ 屏風ヶ浦 (タクシー)				
9:40 ~ 10:25	屏風ヶ浦 (鏡子マリーナ海水浴場)	≪雄大な屏風ヶ浦の景観を堪能≫ 激しい波浪により生み出された奇岩や断崖絶壁からなる自然景観などを巡る「鏡子の磯巡り」は、江戸時代から人気がありました。 中でも鏡子市名洗町から隣、旭市の利部岬まで約10キロメートルにわたり40メートル~50メートルの断崖が続く「屏風ヶ浦」は、英仏海峡のドーバーの「白い壁」にも匹敵するといわれ、「東洋のドーバー」とも呼ばれています。 2016年3月には、国の名勝と天然記念物に指定されました。	鏡子マリーナ海水浴場の西側には屏風ヶ浦を間近に眺めることができる遊歩道があり、緑模様の屏風ヶ浦の地層がはっきりと見えます。 住所 鏡子市湖見町・名洗町 問合せ 0479-24-3707 (鏡子市観光工課)	
10:25~10:40 屏風ヶ浦 ⇒ 外川駅 (タクシー)				
10:40 ~ 11:30	「外川」のまち歩き	≪古きよき漁師町の面影が残る町並みを散策≫ 外川(とかわ)は、万治元年(1658年江戸時代の初期)、紀州からやってきた崎山治郎衛門が築港しました。それに伴い、漁港に面した雨料面は、暮盛の目のように区画され、そこに紀州から呼び寄せた1000軒以上が住みつき、集落となりました。そして、築港から今日まで、鏡子の漁業発祥の地として栄えてきました。時代とともに、そこに住む人や建物が新しくなっていく中、ふと目に飛び込んでくる懐かしい風景や、人々の温かさ。あなただけの外川の魅力が発見できるでしょう。 また、昭和の懐かしいおもちゃ等がたくさん展示してある「京業東和薬品 昭和ノスタルジー館」や、漁師町外川の歴史が学べる「外川ミニ郷土資料館」、豆乳プリンなどが人気の「柳原豆腐店」、千葉県指定伝統的工芸品の万祝式大漁船を製作販売している「小澤染工場」など、観光スポットも盛り沢山です。	・京業東和薬品 昭和ノスタルジー館 住所 千葉県鏡子市外川町2-10636 営業時間 平日10:00~14:00 土日祝10:00~18:00 料金 入場料150円 問合せ 0479-22-0364 ・外川ミニ郷土資料館 住所 鏡子市外川町2-10610 開館時間 10:30~15:30 休館日 火・水曜日 問合せ 0479-22-0575 ・柳原豆腐店 住所 鏡子市外川町2-10927 毎週日曜日営業時間 8:30~19:00 定休日 毎週日曜日 問合せ 0479-22-9557 ・小澤染工場 住所 鏡子市外川町2-11061 営業時間 8:00~17:30 休業日 日曜・祝日 問合せ 0479-22-2783	   
11:30 ~ 12:15	治ろうや	日本の最東端の館処である治ろうや館処。地元外川漁港からの地魚を中心としたメニューで揃えており、オススメはきんめ鯛の炙りと、濃厚な玉子をベースに甘味をかきた伊達巻です。中でも伊達巻は「漁夫のプリン」と呼ばれ、見た目も味も芸術品です!	住所 鏡子市外川町2丁目10608 平日 11:30~14:00/17:00~21:00 土日祝 11:30~21:00(不定休) 問合せ 0479-22-0435	 
12:15~12:20 治ろうや ⇒ 外川駅 (徒歩)				
12:20~12:37 外川駅 ⇒ 仲ノ町駅 (徒歩)				
12:37~12:50 仲ノ町駅 ⇒ ヤマサ醤油工場				
13:00 ~ 14:30	ヤマサ醤油工場	≪歴史と伝統を誇る醤油工場を見学≫ 鏡子の調味料が江戸の食文化を変えたまでと言われる鏡子の醤油醸造。江戸の発展を支える労働力であった「江戸子」には色・味・香りが良く、味付けの濃い「関東風の醤油」が好まれました。これが、蕎麦、てんぷら、鯉の蒲焼、寿司などに続く江戸の食文化を花開かせました。 鏡子の醤油醸造は、元和2年(1616)に摂津国の酒造家の教示により飯沼村の田中玄善が、正保2年(1645)には紀州から移ってきた濱口儀兵衛が事業に着手しました。 明治維新後も鏡子のしょうゆ醸造業は発展を続け、現在は国内の5大メーカーのうちの2社(ヒゲタ醤油株式会社、ヤマサ醤油株式会社)があります。 ヤマサ醤油工場では、仕込蔵や工場などが点在する広い敷地内を見学することができます。しょうゆ味わい体験館では、せんべい焼きの体験コーナーや、ここでしか買えないお土産コーナーなどがあります。	<工場見学> 住所 鏡子市北小川町2570 映画上映 20分、工場見学 30分 受付は9:00~11:00、13:00~15:00(要予約) 問合せ 0479-22-9809 <しょうゆ味わい体験館> ※ご予約なしで入場いただけます。 AM9:00~PM4:00 入場無料	   
14:30~14:45 ヤマサ醤油工場 ⇒ 鏡子駅 (徒歩)				
14:57~15:01 鏡子駅 ⇒ 松岸駅 (JR総武本線)				
15:01~15:10 松岸駅 ⇒ 鏡子ちぢみ伝統工芸館 (徒歩)				
15:10 ~ 16:40	鏡子ちぢみ伝統工芸館	鏡子ちぢみは、江戸時代に漁師の婦女子が出漁の安泰と豊漁を祈って家内工業的に製造されたのが始まりです。 本店である「鏡子ちぢみ伝統工芸館」では、鏡子ちぢみの製法や製品の素晴らしさを伝えるとともに、鏡子ちぢみを使った藍染体験教室も開催しています。ちぢみの白いハンカチを糊ゴムと箸を使い、花模様に絞り、天然の藍の液の中に入れて染色します。お店では、着物や反物だけでなく、財布や扇子、ハンカチ、洋服など、鏡子ちぢみを使ったさまざまなアイテムも販売しています。	住所 鏡子市松岸町3-228 開館時間 9:00~17:00 定休日 不定休 問合せ 0479-22-2103 藍染体験と工場見学は予約制です。 ひとり1,800円(税込) 所要時間は約90分~です。 ゴム手袋、エプロン等をご持参ください。	
16:40~16:50 鏡子ちぢみ伝統工芸館 ⇒ 松岸駅				
16:51 JR総武本線 千葉行き 乗車				